

今日のトピック 世界の「投信マネー」(2018年1月) 2018年も投信マネーの拡大が期待される

17年12月第4週から流入超過額が拡大

- EPFRグローバル(注1)で世界の「投信マネー」の17年12月単月の資金フロー動向を見ると、株式ファンドの流入超過額が70億ドル(前月236億ドル)、債券ファンドの流入超過額が96億ドル(同185億ドル)と、ともに減少しました。
- しかし、17年12月第4週以降18年第1週までの3週間で、流入超過額は株式ファンドが343億ドル、債券ファンドが241億ドルと、ともに拡大しています。世界経済の拡大が続く中、米国では税制改革法が可決されたことなどから、リスクをとる動きが活発化したためと思われます。

株式は「グローバル」、「北米」、「日本」等へ流入

- 株式ファンドは、17年12月第4週以降、先進国全般に投資する「グローバル」や「北米」、「日本」、「アジア(注3)」への流入超過額が拡大しました。
- 新興国は、18年第1週の流入超過額が43億ドルと16年8月以来の大幅な流入超となりました。世界の新興国市場に投資する「GEM(注4)」の流入超過額が拡大しています。

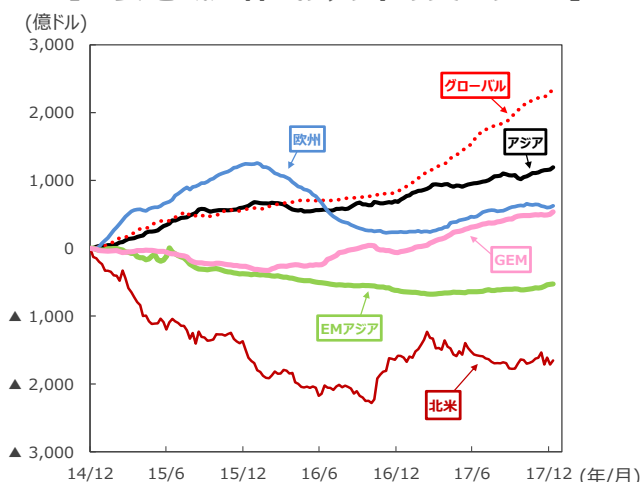
債券への流入超過額も拡大

- 債券ファンドでは、先進国で「北米」、新興国で「GEM」への流入超過額が拡大しました。「北米」では17年12月第5週からハイ・イールド債が流入超に転じました。

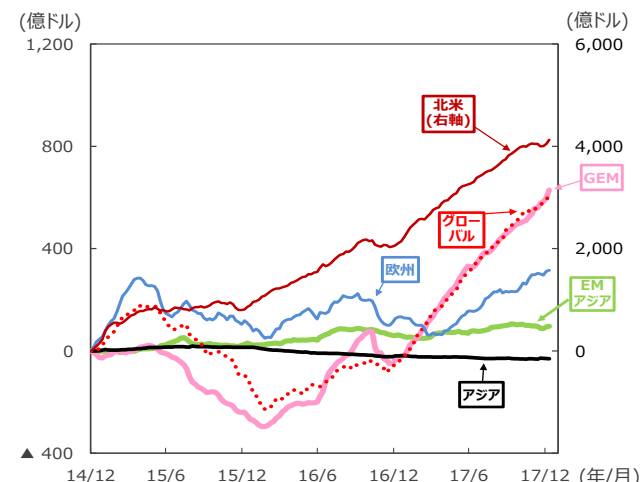
2018年も投信への流入拡大が期待される

- 世界経済は、①景気回復に地域的な広がりが見られる、②米国やアジアでインフラ・設備投資の拡大が期待される、③金融政策の正常化は緩やかに進み景気を悪化させるものではない、ことなどから、18年の投資環境は明るさを増すと考えられます。こうした環境下、投資信託への資金流入が拡大すると期待されます。

【主要地域別株式ファンドの資金フロー】



【主要地域別債券ファンドの資金フロー】



(注1) EPFRグローバル：米国に本社を置く金融商品の調査会社。2017年11月末現在31.6兆ドル規模の世界のファンドの資金フローデータを持つ。
(注2) データは2014年12月～2018年1月。週次ベース。2018年1月は第1週。2014年12月からの累計。
(注3) 「アジア」は日本、豪州、ニュージーランド、香港、シンガポール。
(注4) 「GEM」はGlobal Emerging Markets (世界の新興国市場全体に投資するファンドの総称)。
(注5) 「EMアジア(新興アジア)」は中国、インド、韓国、台湾、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、パキスタン、バングラデシュ。
(出所) EPFRグローバルのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも
チェック!

2018年1月12日 米国『税制改革法』の内容と経済効果は?
2018年1月 4日 投資環境の見通し(2018年1月号)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。